

横須賀の

水

水道

下水道

横須賀市上下水道局

水

は

巡

る

私たちの暮らしに欠かせない

「水」は

水源から川や海へと

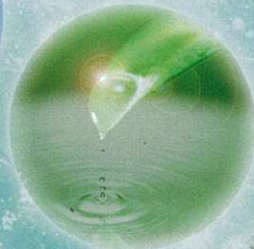
地球規模で循環しながら

繰り返し使われています。

この「水循環」の輪の中で

水道と下水道は

大切な役割を担っています。





はじまりの水

相模川は丹沢山系をはじめとする緑豊かな山々を抱えています。これらの自然が生み出した「水」を私たちは毎日の暮らしに利用しています。

365日、いつでも安定して水を供給するために――

横須賀市内には水源となるような大きな川がありません。そのため、私たちが毎日使っている水道水のほとんどは、県中央を流れる相模川や県西を流れる酒匂川から、ポンプ所、浄水場、水道管などを通して運ばれています。

5つのルートで安定した給水量を確保しています



市内唯一の水源、走水水源地

水源系統別保有水源量

- 走水系統……〔浄水量〕 1,000m³/日
- 有馬系統……〔浄水量〕 73,900m³/日
- 小雀系統……〔浄水量〕 143,300m³/日
- 酒匂川系統……〔受水量〕 18,600m³/日
- 宮ヶ瀬系統……〔受水量〕 113,500m³/日

※保有水源量には、三浦市分29,300m³/日が含まれています。



水を磨く

不純物を取り除き「水」を輝かせます。



私たちは 毎日、安心して飲める おいしい水を 作りつづけています

毎日の暮らしに欠かせない水。それだけに気になるのが安全性です。最近では、より「安全でおいしい水」を求めるお客様の声に応えるため、浄水場の役割も多様化してきています。水源の水は、浄水場で水道水となり、ポンプ所、配水池、配水管など、多くの施設を経て蛇口に到着します。上下水道局では、それぞれの段階で厳しいチェックを重ね、お客様に安全でおいしい水をお届けしています。毎日安心してたっぷり使える水は私たちの貴重な財産です。

有馬浄水場の高度浄水処理プロセス



良質な水を作るために

150項目以上の水質検査を実施

水道水質検査計画に基づいて 厳しい水質検査を行っています

水源、浄水場、配水池、蛇口の各段階で、大腸菌や鉛、ヒ素などの水質基準51項目に、さらに独自に定めた項目を加え、150以上の項目について常に厳しい検査を行い、全ての水質基準をクリアした良質な水道水をお届けしています。



万全な水質検査体制

水質検査の信頼性を 保証します

水道水の水質検査について信頼性を保証する「水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）」の認定を取得しています。



浄水課（水質について）

Tel.046-822-7898

水質についてご心配があれば、浄水課にご連絡ください。水質担当職員がお答えし、水質検査に伺います。

品質と環境への取り組み

より高度な浄水処理

有馬浄水場では活性炭を使った高度浄水処理を行っています。活性炭は、水の中に溶け込んでいるにおいや色などの様々な物質を吸着して取り除くことができます。また走水水源では、膜ろ過設備を導入し、走水の湧水をより安全にお届けしています。



有馬浄水場

太陽光発電システムの導入

有馬浄水場では活性炭吸着池、二層ろ過池に異物混入防止のため蓋を設置し、その上面に太陽光発電設備を整備して、CO₂の削減に取り組んでいます。



太陽光発電パネル

塩素と水の安全について

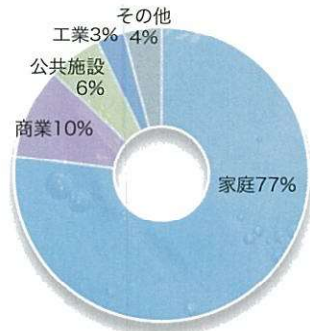
塩素は細菌などから私たちを守ります

水道水には、消毒のために塩素が入っています。塩素は、水道水がお客様に届くまでに、病気を起こす細菌に汚染されることを防ぎます。

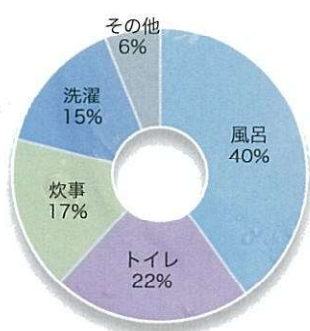
水道水に含まれる塩素の濃度は健康に害がなく、かつ十分な消毒ができるように設定されています。安心してお飲みください。なお、くみ置きしたり、浄水器を通したりした水は塩素がなくなり、消毒効果がなくなります。短期間でお使いください。



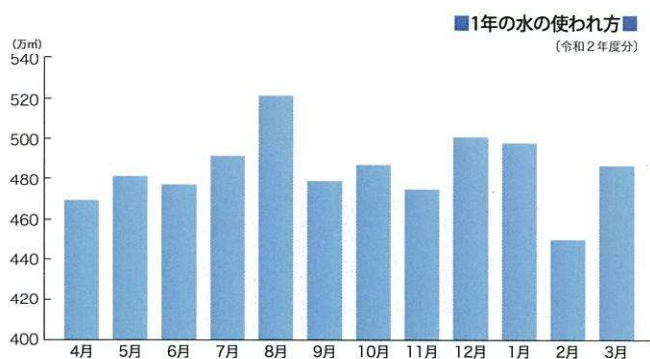
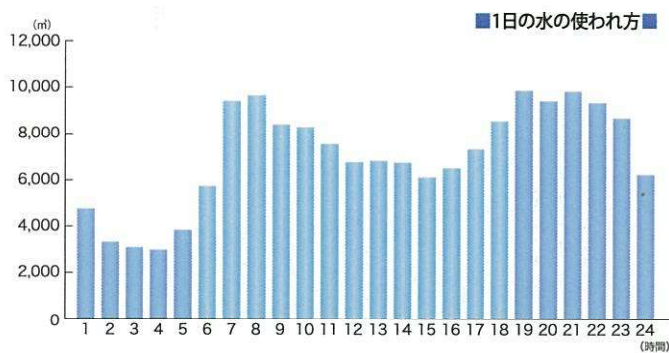
水道は、私たちの 快適な暮らしを支えています



■横須賀市内で使われた水の割合■
(令和2年度分)



■家庭で使われた水の割合■
((公社)日本水道協会「水道のあらし第8版」より)



100円でどのくらいの水道水が買える？

約600Lの水道水を買うことができます。これは浴槽約3杯分の量です。ちなみに、同じ量の「ペットボトルの水」を買おうとすると約30,000円もかかります。

※「ペットボトルの水」は2Lを100円として計算



水を使う

飲む・流す・浴びる・洗う・冷やす……
水は私たちの暮らしを潤します。

いつでも、安心して使える止まらない水道を目指して…

～地震に強い水道管への取替えを進めています～

古くなった水道管は、穴があいたり、管のつなぎめが抜けたりして、水が漏れることがあるため、計画的に取替えを進めています。

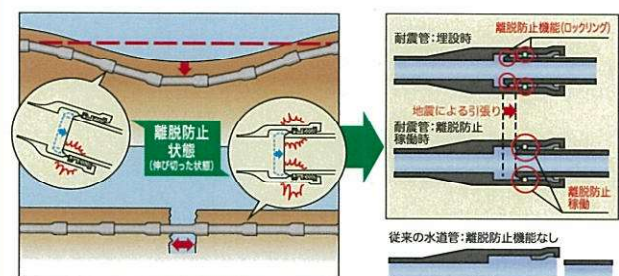


漏水事故現場



古くなり漏水した水道管

新しく布設する管は、一度つなげたら抜けないものやいろいろな形に曲がるものなどの、地震に強い管を使っています。



耐震管への取替

施設を健全に保つためには、このように古くなった施設の更新や適切な維持管理が必要です。お支払いいただいた水道料金などは、こうした費用に使われています。



水をよみがえらせる

汚れた水は、さまざまな浄化プロセスを経て
再び活きた「水」になります。

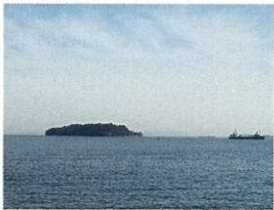
下水道は、 私たちの住環境を 支えています



下水道の役割

●町をきれいにします

快適に水洗トイレが使える、台所や風呂、洗濯などの汚水がすぐに下水道管に流れるので、蚊・ハエや悪臭を防ぎ、きれいで過ごしやすい町になります。



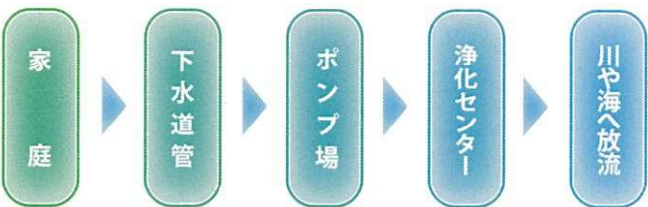
●川や海をきれいにします

生活排水や工場・事業場などの排水をきれいに流すので、川や海はきれいで澄んだ水になります。

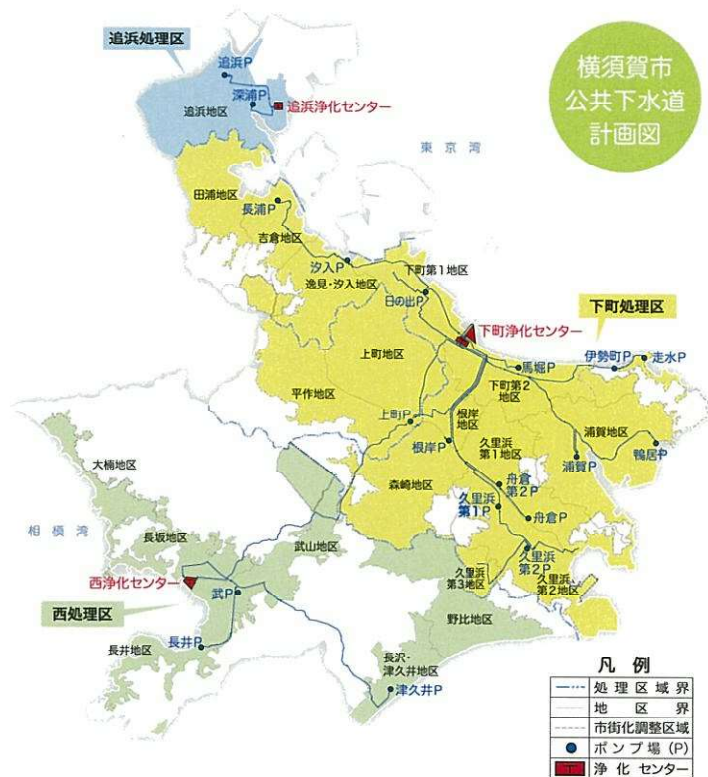


●浸水のない安全な町にします

雨水も下水道管を通して流れるので、大雨が降っても町の中が水浸しになるのを防ぎ、私たちの生命や財産を守ります。



私たちが使って汚れた水(=汚水)は、道路に埋められている下水道管(汚水管)に流れ込み、ポンプ場を通して浄化センターへ運ばれ、きれいな水に再生されます。また、雨水は道路の側溝や下水道管(雨水管)を通して、川や海へ放流されます。



横須賀市の下水道施設

横須賀市は起伏が多い地形のため、多くの施設が必要になります。市内には3か所の浄化センターと19か所のポンプ場があります。

また、令和3年度には下水道施設の規模を適正化(ダウンサイジング)するため、上町浄化センターを廃止し、下町浄化センターに機能を統合しました。





水を還す

私たちが使った水は、私たちの手できれいにして
自然に還します。

水環境を守ること それが私たちの使命です



流入水(汚水)

処理水

環境を守るための取り組み

徹底した管理体制

浄化センターでは、水がどのくらい汚れているか、微生物によってどのくらいきれいになったかなどの検査や、水をきれいにする微生物の管理などを行い、良好な水環境を守っています。



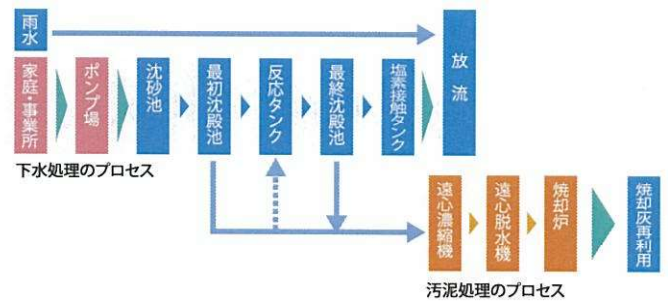
水質検査

下水道の大切さを知る

横須賀市では下水処理した水を利用して市内2か所にピオトープ(トンボの王国)を作るなど、環境保全や啓発活動に積極的に取り組んでいます。ピオトープではトンボをはじめさまざまな生物が観察できます。



トンボの王国(下町浄化センター内)



目に見えない小さな生き物たちが 重要な役割を担っています。

24時間365日休まず稼働

微生物の力で水を浄化する

下水処理のプロセスには、微生物を利用するものがあります。細菌や原生動物などの微生物は、もともと下水の中にいます。下水を反応タンクに貯めて空気を送ると、微生物は下水の汚れを食べ物として増え、活性汚泥(微生物が入っている泥)となり、沈みやすい固まりとなって、汚れた水をきれいになります。

水を浄化する微生物



クマムシ

微生物の働き

微生物にはいろいろな種類がありますが、下水をきれいにする微生物として細菌・原生動物・後生動物などが良く知られています。これらは「汚れを食べる」「汚れを付着させる」「細菌や小さい原生動物を食べる」などにより汚れを浄化します。



ツリガネムシ

『未来につながる最適な水「道」・下水「道」』を目指します

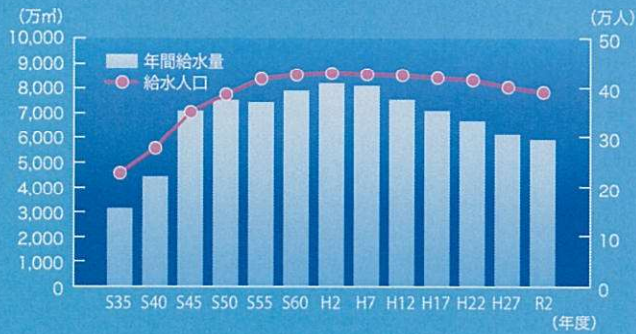
上下水道マスタープラン2033

横須賀市で生活するすべての人が、持続的に上下水道を使い、次世代やその先の未来に引き継いでいく、未来につながる「道」にしたいという思いを込めて、『未来につながる最適な水「道」・下水「道」』

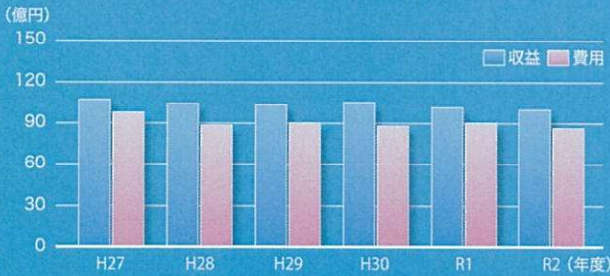
を経営目標に掲げています。この目標を達成するため、「安全で安定した水道水の供給」「安定した下水の排水と処理」「災害に強い上下水道づくり」「経営基盤の強化」の4つの取組みを進めていきます。

水道事業

■年間給水量と給水人口

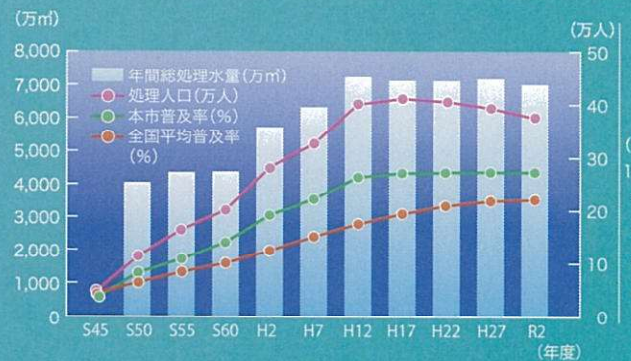


■事業収支の推移

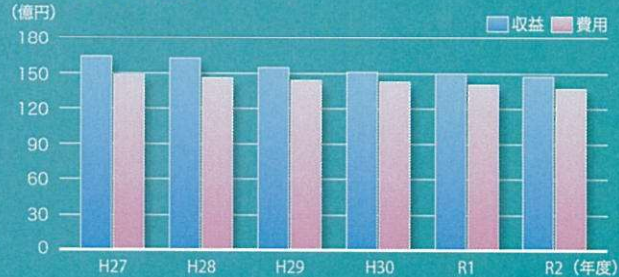


下水道事業

■年間総処理水量・処理人口・普及率(本市・全国平均)



■事業収支の推移



水道料金・下水道使用料は高い？

水道料金と下水道使用料は、2か月分を1回にまとめて請求しています。

ちなみに、電気・ガス料金は1か月ごとの請求です。例えば、3人家族の水道料金と下水道使用料の合計が2か月で約10,000円※1とすると、1か月では5,000円となります。

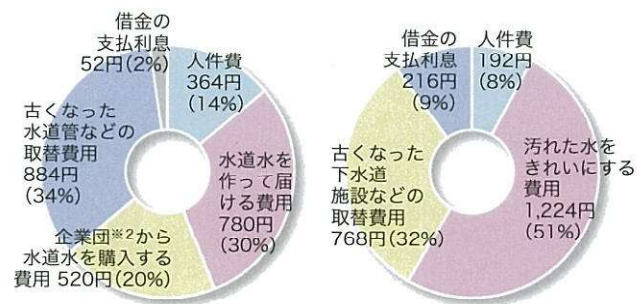
※1 横須賀市で3人家族が2か月に使用する平均水量 約40m、水道料金と下水道使用料の合計10,144円を参考にしています。

水道料金・下水道使用料はどう使われている？

1か月を5,000円とすると、お支払いいただいた水道料金と下水道使用料は、右のように使われています。

水道料金・下水道使用料の使われ方

水道料金 2,600円 5,000円 下水道使用料 2,400円



※2 水需要の増加に対応するため、横須賀市・神奈川県・横浜市・川崎市が共同で「神奈川県内広域水道企業団」を設立しました。



- 応急給水拠点
- 100Lタンク(非常用貯水装置)からの給水
 - 配水池からの給水
 - 水道管からの給水
 - 非常用水源からの給水
 - 配水幹線

応急給水拠点MAP

守ります、命の水

水源が遠い横須賀市では、地震などの災害時、水源からの送水が遮断され、断水状態に陥ることが考えられます。そのため、市内にできるだけ多くの水道水を確保できるように工夫し、災害の時には、応急給水拠点での給水を行います。一方、下水道は下水道管、ポンプ場、浄化センターの破損により、下水道が使用できない場合があるため、状況に応じて下水道使用の自粛や再開を広報します。

災害時の応急給水の目標 (1人1日あたり)



災害に備えて

災害に備えるために、日頃から家庭でも水を確保しておきましょう。飲み水は1人1日3Lとして3日分は用意しておきましょう。おフロの水はトイレなどの生活水に使えます。また、下水道が使用できない時に備えて、自宅トイレで使用できる携帯トイレを1人当り7日分程度を備えておきましょう。



美しい水環境を 子供たちに 引き継ぐために——

雨が降ると、雨水は
家のまわりや道路の汚れを洗い流して、
町の汚れとともに、川や海に流れます。
私たちの大切な川や海を
さらにきれいにするために、
私たちの身のまわりで出来ることから、
一緒に取り組んでいきましょう。
水を無駄にしない、水を汚さない。
ひとりひとりの心がけの積み重ねが、
貴重な水資源や美しい水環境を守ります。

私たちにもできる 川や海にやさしい日頃の心掛け

- 台所では、食用油、野菜くず、残飯などを排水口に流さないようにしましょう。
- 汚れのひどい食器や鍋は、紙などで拭き取ってから洗いましょう。
- 洗濯や台所では、石けんや洗剤の使用量を守りましょう。
- ガソリン、灯油などの危険物は、絶対に下水道に流さないようにしましょう。
- 雨水をためて、庭の水やりに利用しましょう。
- 浸透ますを設置して、雨水を浸透させるようにしましょう。

「上下水道局お客様料金サービスセンター」の
窓口は、土・日・祝日も夜9時まで営業しています

水道や下水道の料金のお支払いなどや、お引越しの受付をいたします。
お気軽にご利用ください。

上下水道局お客様料金サービスセンター

横須賀モアーズシティ7階
(横須賀中央駅隣) / 役所屋中央店内
10:00～21:00 年中無休
(横須賀モアーズシティ営業時間に準じる)

☎046-823-3232
電話受付8:00～21:00年中無休



次のお手続きは、インターネットをご利用いただけます。

- 水道の使用開始
- 水道の使用中止(廃止)
- 使用者名義の変更
- 口座振替申込書類の請求



横須賀市上下水道局
〒238-8550 横須賀市小川町11

このパンフレットは8,000部作成し、1部あたりの印刷経費は28.82円です。
(2022.3)